

他部会等における 委員意見及び対応方針(案)

(第1回基盤整備部会資料)

令和3年7月29日

他部会等における委員意見及び対応方針(案)
意見書様式(修正文案用)
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
1	沖縄県振興審議会 金城陽一委員	4	30	31	ア脱炭素高しよ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	—	<p>名護市や石垣市では、県内でも比較的早くから自転車が普及していたことを背景に、自転車専用レーンの整備が進んでいると聞く。近年、スポーツバイクの普及等で週末を利用して、片道20～30kmのツーリングを楽しむライダーや、市町村をまたいで自転車通勤をする県民も散見されるようになった。しかしながら自動車交通量の多い中南部では、自転車が安心して乗れる専用道路・レーンの整備がほとんど進んでいない状況にある。</p> <p>今後、中部圏の米軍基地の大規模な返還も控えている。街づくりに自転車専用道路をしっかりと位置づけ、基幹的な交通システムとして期待される軌道交通体系に組み込むとともに、平日のバス専用レーンを週末には自転車専用レーンへ転用する等、ハード・ソフトの両面から自転車の利用促進を強力に進め、県民の生活習慣病対策と過度な自家用車保有・利用による慢性的な交通渋滞社会と決別、新たな沖縄らしいライフスタイルを創造して行く必要がある。</p> <p>沖縄本島北部や石垣島等に山岳部があるものの、海岸線沿いは平坦であり、とくに100万都市に見立てられる中南部一円は、若干の起伏があるものの総じて平坦で、安心して走行できる専用道路網さえ整えば、市町村境界を超えた自転車による通勤・通学も一気に普及すると考える。通学範囲の広い高校生の自転車通学が普及すれば通学費負担も低減することができ、SDGsの掲げる「だれ一人取り残さない」社会実現にも資する。かつて「狭い沖縄そんなに急いでどこへ行く」の交通安全標語があったが、中南部圏は緑の木陰の中を日常的に自転車で行き来できる街づくりを目指すべきである。</p> <p>全島の自転車道路網(ネットワーク)を充実することで、スポーツアイランド沖縄の形成や観光客の長期滞在化にも資する。</p>	<p>【原文のとおり】 (理由) 自転車利用環境の整備については、「第4章1-(1)ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進 ①次世代型交通環境の形成」の中で取組を記載しております。</p> <p>また、第6章3圏域別展開(北部地域206頁8行目、中部地域213頁12行目、南部地域220頁31行目)においても同様の取組について記載しております。</p> <p>なお、自転車活用推進法に基づく沖縄県自転車活用推進計画を令和3年3月に策定したところで</p>	第1回意見書	道路管理課
2	沖縄県振興審議会 洲辺美紀委員	4	69	17	(6) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化	<p>北部の※リダンダンシーの観点からも、伊江島空港の利活用を検討する必要があるのではないかと。</p> <p>※リダンダンシー：自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながるように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。</p>	左記参照	<p>【原文のとおり】 (理由) 『沖縄県管理空港の今後の地震・津波対策等の方針(2017年2月)』より、伊江島空港は、那覇空港から100km圏内に位置し、回転翼機の受け入れを基本とした離島支援のための輸送拠点空港として位置づけられています。</p> <p>また、新たな振興計画(素案)『基本施策 2(8)あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり』(76項)の中で、危機管理体制の強化、大規模災害等について記載されており、ご意見いただいた内容は、同項に含まれるものと考えています。</p> <p>伊江島空港においては、大規模地震・津波災害時における『輸送拠点空港』として位置づけられており、空輸による緊急輸送の受け入れ地点として機能する役割を有しております。</p>	第1回意見書	空港課

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
3	沖縄県振興審議会 洲辺美紀委員	4	96	18	(2)世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 ⑥ 空港・港湾と観光拠点エリアにおける観光二次交通の利便性向上	他のところで鉄軌道も計画に出しているが、観光客や県民の足としての鉄軌道だけではなく、移動そのものが観光資源になる観光列車の構想「日本最南端の観光列車」も考えてはどうか	左記参照	【原文のとおり】 (理由) 鉄軌道を観光資源としても活用することは、大事な視点であると認識しております。 一方、経済性や速達性、騒音、周辺環境に与える影響など、様々な視点から検討を行う必要があると考えております。 このため、具体的なルートや構造等について検討を行う計画段階においては、現場の状況等を詳細に把握した上で、観光資源としての活用も含め、幅広く検討していくことが重要であると考えております。	第1回意見書	交通政策課
4	沖縄県振興審議会 洲辺美紀委員	4	141 ～ 144	—	(12)自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成	他のところでは出てくるが、ここにも「シー&エア」という言葉が使われていない。	空港と港湾を連結させ、シー&エアの機能向上からまお一体化した整備についてもこの部分に表現は必要。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 (理由) 委員の意見を踏まえ以下のとおり修正する。 P.103_3-(4)-ア 施策展開「シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コスト低減」との関連より、P.143_3-(12)-ウ においても「シー・アンド・エア」の表現を追記します。 また、P.143_12行目に「シー・アンド・エア」の表現を追記します。 「国内外との海上交通の結節点となる港湾の拠点機能やシー・アンド・エアなど多様なネットワーク機能の強化拡充により、…」	第1回意見書	港湾課

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
5	産業振興部 会 会 金城克也部 会長	4	141	4 20	イ 世界水準の拠点空港等の整備 □ アジアの玄関の役割を担うべく、空港サービスの質向上に向けた3F、Free「楽に」、Fast&Seamless「早く」、おもてなし・賑わいを創出するFun「楽しく」の取組と、時代の先を読んだ先端技術を活用し、将来の変化にもしなやかに対応する空港整備を促進する。	那覇空港については、沖縄の地理的優位性を活かした「世界最高水準」としての空港整備を行う必要があることから、その文言を追加する。	イ 世界最高水準の拠点空港等の整備 □ アジアの玄関の役割を担うべく、空港サービスの質向上に向けた3F、Free「楽に」、Fast&Seamless「早く」、おもてなし・賑わいを創出するFun「楽しく」の取組と、時代の先を読んだ先端技術を活用し、将来の変化にもしなやかに対応する世界最高水準の空港整備を促進する。	【原文のとおり】 (理由) ・「イ 世界最高水準の拠点空港等の整備」について 国内外にある世界最高と評価される空港と那覇空港を比較すると、空港の規模や機能、サービス、国際航空路線数など、様々な面で格差があるものと認識しております。 県としては、今後10年の計画期間において、まずは「世界水準」の拠点空港化に向けて、国や関係機関と連携し、着実に取り組んでいく方針としており、原文のとおりとさせていただきますと考えております。 ・「□ アジアの玄関～対応する世界最高水準の空港整備を促進する。」について 県としては、空港機能等の強化、ターミナルビルの快適性向上、国内外の航空路線網の拡充や、交通機関とのスムーズな接続など、様々な取組を促進することで、世界水準の拠点空港として評価されるものと考えております。 当該文は「世界水準の拠点空港化」に向けての様々な取組の一つについて説明したものであり、当該箇所の追記では、空港サービスの質や先端技術を活用した設備等の導入のみが世界最高水準と誤解を招くことも考えられますので、原文のとおりとさせていただきます。	第1回意見書	交通政策課
6	産業振興部 会 会 金城克也部 会長	4	147	10	② 体系的な道路ネットワークの構築 □ 本県は自動車への依存度が高く、自動車保有台数の増加、レンタカー利用の増加等の急激な自動車交通の増加に対して人口が集中する本島中南部地域では慢性的な交通渋滞が発生しており、道路整備等が追いついていない状況にある。慢性的な交通渋滞の緩和に向けては、広域的な交通網の整備による抜本的な対策として、沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路)、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む	さらに、沖縄自動車道(高速道路)の延長(名護市許田から本部町まで)を検討する。	「道路の整備については、「沖縄本島南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路)など、体系的な幹線道路ネットワークの構築」の記述はあるが、高速道路の延長については、記載がない。 観光産業の振興や、北部地域の振興の観点から、沖縄自動車道(高速道路)の延長(名護市許田から本部町まで)について、追加記述して頂きたい。	【原文のとおり】 (理由) 国において、高規格道路である名護東道路(数久田～伊差川)の整備が進められており、同道路の伊差川から先の延伸については、第6章の圏域別展開の北部圏域の交通及び物流基盤の整備(205頁)において、名護東道路の延長整備に向けた取組を推進すると記載しています。 第4章や第5章はハシゴ道路ネットワークや2環状7放射道路の構築等の体系的な道路ネットワークの構築に取り組むと記載しており、名護東道路の延伸も含まれます。	第1回意見書	道路街路課

番号	意見者	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	対応方針(案)	備考	担当課
7	文化観光スポーツ部会 倉科和子専門委員	4	154	28	<p>(3)世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献</p> <p>②水道分野における国際協力の推進</p> <p>□本件と地形的・機構的特徴が類似する太平洋島しょ国等に対し、島しょ地域に適合した水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの技術移転等を目的とした技術協力に取り組む。</p>	<p>□本件と地形的・機構的特徴が類似する太平洋島しょ国等に対し、島しょ地域に適合した水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの技術移転等を目的とした技術協力に取り組む。</p>	<p>水道分野に関しては長年にわたる、県企業局、県内市町村、JICAの連携による国際協力が展開されているため。</p>	【確認・検討中】	第1回意見書	企業局
8	産業振興部会 金城克也専門委員	5	185	9	<p>□道路の整備については、沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶハシゴ道路ネットワークなど体系的な幹線道路網の構築を図るほか、主要渋滞箇所において交差点改良を行う渋滞ボトルネック対策に取り組む。</p>	<p>さらに、沖縄自動車道(高速道路)の延長(名護市許田から本部町まで)を検討する。</p>	<p>「道路の整備については、「沖縄本島南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路)など、体系的な幹線道路ネットワークの構築」の記述はあるが、高速道路の延長については、記載がない。</p> <p>観光産業の振興や、北部地域の振興の観点から、沖縄自動車道(高速道路)の延長(名護市許田から本部町まで)について、追加記述して頂きたい。</p>	<p>【原文のとおり】 (理由) 国において、高規格道路である名護東道路(数久田～伊差川)の整備が進められており、同道路の伊差川から先の延伸については、第6章の圏域別展開の北部圏域の交通及び物流基盤の整備(205頁)において、名護東道路の延長整備に向けた取組を推進すると記載しています。 第4章や第5章はハシゴ道路ネットワークや2環状7放射道路の構築等の体系的な道路ネットワークの構築に取り組むと記載しており、名護東道路の延伸も含まれます。</p>	第1回意見書	道路街路課